

# 平成28年度小豆島オリーブビギナー検定(小豆島会場) 正解表

設問	正解	テキスト記載P	備考	設問	正解	テキスト記載P	備考	設問	正解	テキスト記載P	備考
問1	2	P54	オリーブ栽培の起源には諸説あるが、約6,000年前に小アジア地方で始まったというのが現在の定説になっている	問18	4	P30	樹齢は極めて長く、地中海沿岸では1,000年を超える老樹も珍しくない	問35	4	P56～59	①スペイン ②スペイン ③イタリア
問2	3		最初に地中海沿岸へオリーブを広めたのはフェニキア人で、その後ギリシャ・ローマ人が栽培を広めた	問19	3	P31	開花期間は約一週間と短い。蜜はなく、多量の花粉を風で飛ばす風媒花であるが、虫媒花でもある	問36	3	P65	カヨヌはオイル用品種である
問3	3			問20	4	P31	表面は厚い透明のクチクラに覆われて光沢のある濃緑色、裏面は密生した毛茸で銀白色になっている	問37	4	P38,39	①明治41年の栽培開始時期からわずか2年後にはその存在が確認されている ②成虫の生存期間は3～4年である ③成虫は、3月下旬から10月下旬まで絶え間なく活動を続け、冬期は樹下の落葉下などで休眠状態で過ごす
問4	3	P8	日本に初めてオリーブオイルが持ち込まれたのは、約400年前の安土・桃山時代であり、当時キリスト教伝導のため来日したフランシスコ派のポルトガル人神父が携えてきたと言われている	問21	3	P31	開花期間は約一週間と短い 5月下旬～6月上旬にかけて開花する	問38	1		
問5	3	P12	この戦争によって、北方領域に広大な漁場を獲得し、魚介類の水揚げが増え、輸出用缶詰加工のため輸入していたオイルの自給が求められた	問22	1	P32	自家不和合性の性質を持つため収穫量を上げるために受粉樹として異なる品種をある程度混植しているケースが多い	問39	2	P42	1970年代中頃まで主な採油法であった
問6	4			問23	2	P40	香川県においてグリーンオリーブス(新漬け)用には黄緑色のオリーブ果実が使用される	問40	3	P45～49	③ペーストの接する部分がステンレス・スチールなので、他の金属イオンの影響を受けにくい
問7	1	P10	明治7年、佐野常民(博覧会副総裁)がイタリアからオリーブを持ち帰り、東京と和歌山に植栽	問24	3	P34	オリーブ樹は乾燥を好む植物とされているが、適度な降水量が必要となる	問41	2	P73	①、③、④は多価不飽和脂肪酸である
問8	2	P12	農商務省が明治40年に3県を指定し、翌年それぞれ1.2haの規模で試験栽培開始した	問25	4	P34	日照量が多いほど生育が良い	問42	4	P73	バージンオリーブオイルはビタミンEやベータカロチン、ポリフェノール類などの抗酸化物質を豊富に含んでいる
問9	2	P13	明治32年、香川県農事試験場の創設とともに場長に就任	問26	3	P35	比較的低温には強く、短時間の場合マイナス10度で寒害が発生する程度である	問43	1	P71	品質の高い順に、エクストラ・バージン・オリーブオイル、バージン・オリーブオイル、オーディナリー・バージン・オリーブオイル、ランパンテ・バージン・オリーブオイルとなる
問10	3	P60～62	実際にアメリカから輸入されたのは3品種あったが、1品種は不明	問27	1	P36	土壌に対する適応性は大きい、根の生育には良好な通気性を必要とする	問44	2		エクストラ・バージン・オリーブオイルとは、素晴らしい風味や酸度の低さともに、トップクラスのオリーブオイルである
問11	3	P16	尾崎元扶は、昭和26年に発足した香川県農業試験場小豆分場の初代分場長である	問28	3	P35	花芽分化には気温などの環境が大きく関係する	問45	2		ポマスとは採油カスのことである
問12	3	P14	これにより、日本における果実加工は、ようやく一歩を踏み出した	問29	4	P31,34,35	オリーブ樹は、日の差す方向へ枝が伸びていく強い向日性の特徴が見られる	問46	1	P56～61	小さい順にアルベキナ<マンザニコ<アスコラーナ・テレナ<セビラノ
問13	2	P12	三重と鹿児島で栽培したものは開花したが結実は極めて不良に終わった	問30	2	P60	小豆島では、2008年時点において、約60品種・系統が導入されており、その中4品種が一般的に栽培されている	問47	4	P74,75	骨のミネラル化(骨組織へのカルシウム吸収・沈着)を促進。カルシウム喪失を抑制するので骨粗しょう症の予防にもなる
問14	2	P9～17	①林 洞海 ③三木 隼人 ④前田 正名	問31	1	P60～62	含油率は25%程度と非常に高い	問48	3	P22	①県花に選ばれる ②県木に選ばれる ④小豆島オリーブ公園オープン
問15	1	P18,22	オリーブが農産物輸入自由化の第一弾に組み込まれた	問32	3		国内オリーブ栽培の果実加工用、油用兼用の最主要品種となっている	問49	1	P82	香川県高松市生まれ。梨本宮にオリーブの絵を献上。これが、日本で最初に描かれたオリーブの絵となった
問16	2	P27	昭和39年当時小豆郡内では、106haで栽培されていた	問33	2		世界中で多く栽培される主要品種。自家不和合性が強いなど弱点があるが栽培は容易	問50	1	P22	1972年に「小豆島オリーブを守る会」が結成され、3月15日をオリーブの日と定める
問17	1	P30	モクセイ科オリーブ属に属する常緑樹である	問34	4		観賞用樹として最も苗木生産量が多いのが特徴				